

陸運と安全衛生

第40回全国フォークリフト運転競技大会特集号

2025
10
No.682



第40回全国フォークリフト運転競技大会

第40回全国フォークリフト運転競技大会開催

【一般の部】優勝 森山 伸選手(新潟県支部) 準優勝 庭野智彦選手(群馬県支部)
【女性の部】優勝 田川恵美選手(京都府支部) 準優勝 白鳥奈々選手(千葉県支部)



陸上貨物運送事業労働災害防止協会

第40回全国フォークリフト運転競技大会開催

【一般の部】優勝 森山 伸選手(新潟県支部)

準優勝 庭野智彦選手(群馬県支部)

【女性の部】優勝 田川恵美選手(京都府支部)

準優勝 白鳥奈々選手(千葉県支部)

陸上貨物運送事業労働災害防止協会は、9月27日(土)・28日(日)、中部トラック総合研修センター（愛知県みよし市）にて第40回全国フォークリフト運転競技大会を開催しました。

本大会は、フォークリフトの運転競技を通じ、運転の知識と技能の向上を図るとともに、遵法精神と安全意識を高めることにより職場における安全作業の確立と労働災害防止の推進に資することを目的として毎年開催しています。

今年は、地方大会で特に優秀な成績を修め、各都道府県支部長から推薦を受けた、一般の部51名、女性の部19名、合わせて70名の選手が出場しました。

第40回大会を制したのは、

一般の部 新潟県支部 森山 伸選手

女性の部 京都府支部 田川恵美選手

でした。

森山選手は、前回大会に続いての出場で一般の部優勝を果たされました。

田川選手は、全国大会初出場で女性の部優勝の栄冠を手になされました。

お二人を含め上位入賞された皆様、誠におめでとうございます。

本年の地方大会には、多くの支部の関係者や会員企業の皆様のご理解とご協力により、昨年より52名多い491名の選手が出場され、全国各地で熱い競技が繰り広げられました。



一般の部優勝 森山 伸選手(左)、
女性の部優勝 田川恵美選手(右)



運転競技の模様

開会式

開会の挨拶

大会実行委員長である当協会横尾雅良専務理事から開会の挨拶があり、「選手の皆様は、これから始まる競技に緊張とともに期待に胸を大きく膨らませておられることと思います。これまで培ってこられた知識と技術、技能を遺憾なく発揮し、健闘されますことを強く希望いたします。

選手の皆様が、本大会への参加を目指す中で得られた様々なご体験、ご知見をそれぞれの職場に持ち帰っていただき、皆様の職場における作業の安全、労働災害の根絶に役立てていただきますことを強くお願いします」と開会を宣言されました。



横尾実行委員長

競技大会でもあります。皆さんが日頃から鍛錬してきた技術や知識そのものを遺憾なく発揮していただき、悔いのないよう頑張りたい。私からは「You've got this. (あなたならできる)」とエールを送ります」との挨拶がありました。



大塚愛知県支部長

選手宣誓

続いて、前回大会の優勝者が所属していた岡山県支部の西山智也選手が全選手を代表して、「正々堂々、競技することを誓います」と力強く選手宣誓を行いました。



選手宣誓

開催地支部長挨拶

次いで開催地支部の大塚康洋愛知県支部長（当協会副会長）から、「愛知県までお越しくださいまして、大変ありがとうございます。中部トラック総合研修センターでの開催は6回目になります。

労働災害を減らしていきたいというのが本大会の目的ですが、そうは言っても本大会は



開会式の模様

第40回全国フォークリフト運転競技大会出場選手の皆さん（敬称略）

一般の部（51名）									
都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名
北海道	中澤 俊光	群馬	庭野 智彦	長野	松田 翔	大阪	田村 蓮	愛媛	白崎 将駿
青森	西山 翔	埼玉	梅原 成浩	岐阜	水野 和則	奈良	前坂雄一郎	福岡	村瀬 聡士
岩手	菊地 瑛人		辻本 幹	静岡	服部 勇樹	和歌山	岡崎 喬也	佐賀	権藤 雄介
宮城	菅野 恵史	千葉	谷田部瑛介		斎藤 雄也	鳥取	徳永 陸弥		池田 泰蔵
秋田	佐々木悠也	東京	小森 貫太	愛知	大谷 剛史	岡山	西山 智也	熊本	三島 利顕
山形	酒井 正行	神奈川	縄田征太郎		加藤 壮祐		藤原 明広		貝田 光希
福島	一ノ瀬 司	新潟	森山 伸	三重	石垣 佳大	山口	久保 治彦	大分	宇和田伸司
	佐藤 海斗	富山	若島 琉斗		川北 司	徳島	栗本 秀明	宮崎	湊 征一郎
茨城	五十嵐祐介	石川	高木 一誓	滋賀	進藤 雅紀	香川	角先 大和	鹿児島	中原 拓郎
	椎名 大樹	福井	西出 光宏	京都	風岡 知	愛媛	一色 卓也	沖縄	呉屋 大介
栃木	渡邊 邦和								
女性の部（19名）									
都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名
宮城	稲葉 美晴	千葉	白鳥 奈々	静岡	平田 有子	京都	田川 恵美	佐賀	森 美和
茨城	荒原 香代	神奈川	阿部 里美	愛知	水杉 美歩	岡山	高下 紗江	熊本	上川 真世
群馬	竹内 陽子	富山	上川友梨恵	三重	篠原 望玖	山口	平田 光咲	宮崎	河野 香織
埼玉	杉本 実穂	岐阜	吉田 里佳	滋賀	中井あずさ	福岡	田代 望		

競技

学科競技

選手は張り詰めた空気に包まれた会場で、一問でも多く正解を導き出そうと懸命に取り組んでいました。



点検競技

点検競技は3つの競技場で実施しました。今大会の点検競技で使用したフォークリフトは次の機種です。

競技場①：住友ナコ（FT15PAXIII）

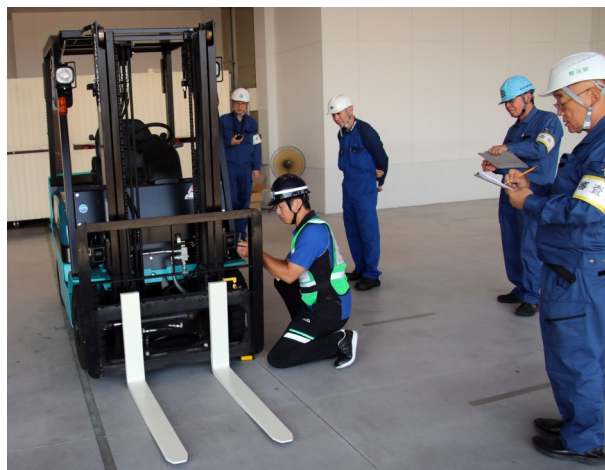
競技場②：コマツ（FG15T-21）

競技場③：トヨタL&F（02-8FGL15）

限られた時間の中、研ぎ澄まされた感覚と経験を駆使し、各所の点検を迅速に行っていました。



競技場①



競技場②





競技場③

運転競技

運転競技は2コースで実施しました。今大会の運転競技で使用したフォークリフトはAコース、Bコースともに次の機種です。

三菱ロジスネクスト（KFGE25P-TP）



Aコース



Bコース

表彰式

会長挨拶

当協会齋藤充会長から「全国からご参加いただいた70名の選手の皆様には、学科・点検・運転の各競技に2日間にわたり真摯に取り組んでいただきました。皆様の健闘に、心から敬意を表します。



齋藤会長

選手を送り出していただきました関係者の皆様方にも、厚く御礼を申し上げます。

本大会は、昭和61年から毎年開催し、第40回を迎えることができました。関係者の皆様方のご協力、ご支持、ご支援に改めて感謝申し上げます。

陸運業における労働災害は増加傾向にあり、荷役作業に関する災害が多くを占めています。その荷役作業においてフォークリフトは欠かすことのできない機械であり安全、正確、迅速に作業を行うことが強く求められています。

選手の皆様は、本大会への参加に向けて、フォークリフト運転の知識、技能に一層の磨きをかけられたことと拝察します。本大会への参加を通じて得られた経験を職場の同僚、後輩の方々に広く伝えていただき、職場における労働災害の防止になお一層のご尽力をいただくようご期待申し上げます。

各地方大会及びこの全国大会を通じて、荷役運搬作業における安全作業の確立と労働災害の防止が更に推進されますことを祈念いたします」との挨拶がありました。

来賓祝辞

続いて、来賓の方々から祝辞をいただきました。

厚生労働省労働基準局 安井省侍郎安全衛生部長（要旨）

「フォークリフトは、作業の効率化、省力化に大きく貢献するものとして、我が国

の物流、生産活動において必要不可欠なものとなっています。

一方で、令和6年のフォークリフトに関連する労働災害発生状況を見ると、16名の方々の尊い命が失われ、1,953名の方々が休業4日以上災害に被災されている状況です。

皆様方におかれましては、皆様の職場の安全対策に問題がないか、今一度確認いただくとともに、安全運転の技術を生かし、安全運転の徹底に努めていただければと思います。

また、今後とも職場や地域における模範として、日頃の安全活動や後進の指導にも取り組んでいただきますようお願いします」旨の祝辞をいただきました。



安井厚生労働省労働基準局安全衛生部長

全日本トラック協会会長

（代読：吉池明人交通・環境部調査役）（要旨）

「全国から選出されたフォークリフト運転者の精鋭が集い、日頃から培った高度な技能や知識が競うことにより更に優秀な人材を育成できる本大会の持つ役割は重要で、誠に意義深いものであります。

参加された選手の皆様におかれては、本大会の参加を誇りに、地域のフォークリフト運転者のリーダーとして、今後の一層の活躍を期待しています。」



吉池全日本トラック協会交通・環境部調査役

日本産業車両協会会長

（代読：高瀬健一郎専務理事）（要旨）

「当協会はフォークリフトメーカーとともに、安全で環境にやさしく操作しやすいフォークリフトの開発に取り組んでおり、毎年開催しています『フォークリフト安全

の日』を本年7月4日に、陸災防様からの協賛を得て、第4回目を開催しました。

フォークリフトによる荷役作業における安全性向上を目指した本大会をはじめとする陸災防の事業に賛同しますと共に、卓越した技術を持って各支部を代表して参加された選手の皆様のますますのご発展をお祈りします。」



高瀬日本産業車両協会専務理事

講評・入賞者発表

当協会井上健技術管理部次長から、学科競技、点検競技、運転競技のそれぞれについて講評（詳細は、本誌8ページをご参照ください。）を行い、続いて入賞者の発表が行われました。



井上技術管理部次長

入賞者発表では、健闘賞、5位、4位と、順に上位入賞者が発表されます。次の順位の名前が読み上げられるまでの時間は一瞬ですが、その間に生まれる選手や関係者の固唾を呑む静寂、そして入賞者が発表された瞬間に巻き起こる大歓声と万雷の拍手からは、皆様の本大会に臨む思いの深さが伝わってきました。

第40回全国フォークリフト運転競技大会 一般の部 入賞者及び結果（敬称略）										
順 位	氏 名	都道府県	総合得点	学 科	点 検	運 転		配 点	最高得点	平均点
優 勝 (厚生労働大臣賞)	森山 伸	新潟	957	282	100	575	学 科	300	294(2名)	237
							点 検	100	100(12名)	87
準優勝	庭野 智彦	群馬	951	276	95	580	運 転	600	585(1名)	513
第3位	田村 蓮	大阪	944	264	95	585	総合得点	1,000	957	838
第4位	湊 征一郎	宮崎	939	294	95	550	()内は最高得点者数			
第5位	進藤 雅紀	滋賀	936	276	100	560				
健闘賞	石垣 佳大	三重								
健闘賞	藤原 明広	岡山								

※健闘賞につきましては、大会当日受賞者1名として発表しましたが、再審査の結果、2名の選手が受賞者となりました。

第40回全国フォークリフト運転競技大会 女性の部 入賞者及び結果（敬称略）										
順 位	氏 名	都道府県	総合得点	学 科	点 検	運 転		配 点	最高得点	平均点
優 勝 (厚生労働大臣賞)	田川 恵美	京 都	930	270	95	565	学 科	300	270(2名)	217
							点 検	100	100(1名)	77
準優勝	白鳥 奈々	千 葉	920	270	90	560	運 転	600	565(1名)	469
第3位	篠原 望玖	三 重	890	240	90	560	総合得点	1,000	930	763
第4位	平田 有子	静 岡	889	264	80	545	()内は最高得点者数			
第5位	平田 光咲	山 口	886	246	85	555				
健闘賞	森 美和	佐 賀								



表彰

入賞者発表に続き表彰が行われ、陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長賞が齋藤会長から入賞された選手一人一人に授与されました※（写真3、4）。

一般の部及び女性の部の優勝者へは、厚生労働省労働基準局 安井安全衛生部長から厚生労働大臣賞の授与（写真5）があり、次いで齋藤会長から会長杯の授与（写真6）が行われ、閉会となりました。※大会当日は一般の部の健闘賞を1名と発表しましたが、再審査の結果、2名の選手が受賞者となりました。



写真3 一般の部入賞者の皆さん※



写真4 女性の部入賞者の皆さん



写真5 安井安全衛生部長と各部門優勝者



写真6 齋藤会長と各部門優勝者



入賞選手の皆さん※

前列左から、小林愛知労働局長、安井安全衛生部長、森山伸選手、齋藤会長、田川恵美選手、大塚愛知県支部長、横尾実行委員長、後列左から、藤原明広選手、進藤雅紀選手、湊征一郎選手、田村蓮選手、庭野智彦選手、白鳥奈々選手、篠原望玖選手、平田有子選手、平田光咲選手、森美和選手

第40回全国フォークリフト運転競技大会 結果の概要

技術管理部 次長 井上 健

今大会は、学科、点検、運転の全部門で前回までの大会と同様にハイレベルな競技となりました。9月28日の表彰式でもごく簡単に申し述べましたが、今大会の講評を以下に取りまとめました。次回以降の大会に向けて、参考としていただければ幸いです。

学科競技

学科競技では、今回出題範囲を少し拡大しましたので、対策に苦勞されたかもしれません。設問も少し難しかったと思いますが、学科競技の平均点は232点（前回240点）で、最高点は前回大会を上回り、294点でした。出題科目別で見ると、「関係法令」の正答率が平均80%（前回72%）と大幅に上がっています。選手の皆さんは、関係法令をよく勉強されたものと思います。また、今大会においても、これまでの大会で出題された問題を「過去問題集」として、出場される選手に事前にお配りしました。皆さん、事前学習の参考となりましたでしょうか。今大会を機に、改めて関係法令を含めたフォークリフト運転のための知識を再認識していただき、今後、フォークリフト運転の初心者や若い方などの指導に活かしていただきたいと思います。

点検競技

点検競技の平均点は84点で、満点を取られた方は13名でした。今回の点検項目において、審査対象としました不具合箇所と点検項目は昨年の設定よりも難しかったのですが、好成績だったと思われます。点検が難しい箇所にこそ、確実な作業開始前点検が求められます。作業開始前点検の確実な実施を日頃から習慣付けてください。

運転競技

運転競技の平均点は501点（前回490点）で、昨年より上がっており、選手の皆さんの運転・荷役操作技術がとても向上している結果だと思います。最高点は、585点でした。今回の運転競技では、コースフェンスに接触する選手は少なく、皆さん運転がスムーズでした。走行時や積付け・取卸し時のフォーク高さ、一旦停止位置など一つ一つの操作を丁寧、確実に行うことが重要です。選手の皆さんは、今大会での運転操作を振り返って、今後とも、より安全で正確な運転に心がけてください。

まとめ

今回の大会は大変レベルの高い選手の皆さんにより競われた大会だったと感じています。今回、総合得点が同点の方が8組もおられ、実施要綱に基づいて順位を決定しました。うち一組は運転競技・点検競技ともに同点でしたので、運転競技時間が短かった方を上位者としました。それだけ実力が均衡していたものと思われます。

選手の皆様には本大会で得られた知識・技能を職場に広げていただきたいと思います。円滑な大会の進行にご協力いただき感謝いたします。



【大会優勝者インタビュー】

絶対優勝するという目標を立てて臨みました

第40回大会 一般の部 優勝 森山伸選手

優勝おめでとうございます。お気持ちをお聞かせください。

嬉しいです。自分の名前が呼ばれた時は信じられなかったです。家族や職場に感謝です。仲間がいてよかったです。

入賞する自信がなかったのも、自分の名前が呼ばれないものだと思ってました。それが優勝のところ、一番いいところで名前を呼んでもらえてすごく嬉しかったです。

優勝されてどんなことが頭に浮かびますか。

ずっと練習してきました。1週間以上家を空けることもあり、妻に迷惑かけましたし、子供たちも寂しい思いをしたことでしょう。職場の仲間にもここ何か月も仕事に穴を空けた状態で、仲間たちがサポートしてくれて感謝しています。仲間たちの顔や、指導していただいた教官の顔が浮かびました。本当にいろんなことに感謝させていただいた大会でした。

ご家族の方に応援していただいたということですが、具体的にはどういうことをしていただきましたか。

ここ2、3か月、家事とか、育児もそうですが、妻が全部やってくれて、応援してもらいました。

大会参加のきっかけをお聞かせください。

現在の職務は大型トラックの運転手で、フォークリフトを使う職場の先輩方の背中を見て自分から参加しました。

全国大会の感想をお伺いしたいのですが、その前の地方大会から今日までをお話しいただけますか。

地方大会に臨んだのは、今年で連続4回目で、去年の地方大会で初めて優勝できましたが、全国大会では9位でした。悔しくて、今年の全国大会が最後と位置付けて頑張ってきました。

地方大会では手が震えてしまって、優勝できたのが信じられませんでした。

新潟県支部の代表になってからは、今年こそは優勝するぞの決意で臨みました。

全国大会の前日はぐっすり眠れましたか。

やっぱり興奮していて、眠れませんでした。全国大会は楽しみでもありました。

全国大会の手応えはどうでしたか。

学科競技

毎日かかさず勉強はしていましたが、確かな手応えというまではありませんでした。

点検競技

待ち時間は切磋琢磨してきた仲間たちがいましたので、励まし合って有効に時間を使っていました。

点検競技自体は落ち着いてできました。

運転競技

待ち時間にほかの選手の走行をみてフォークリフトの特性をみていました。

運転競技の自信はありました。今日の手応えはありました。

優勝することができた秘訣は何ですか。

努力することはもちろんですが、繰り返しになりますが、家族や職場の仲間や指導者がいて、その人たちが応援してくれたからです。前年の結果が悔しくて、苦しかった1年間でした。

今年は絶対優勝するんだという目標を立てて臨みました。

今後の抱負についてお聞かせください。

今後は、フォークリフトの労働災害防止のために、後進の指導に今まで以上に全力で当たっていきたいと思います。



【大会優勝者インタビュー】

「自分はできる」と思い込みました

第40回大会 女性の部 優勝 田川恵美選手

優勝おめでとうございます。感想をお聞かせください。

自分の名前が優勝者として呼ばれると思っていたいなかった自分と、頑張ってきたから呼ばれると思う自分がいたので、信じられない気持ちとうれしい気持ちの両方です。

大会参加のきっかけはありますか。

今年の1月に上司から推薦していただきました。元々フォークリフトに乗っていたので「自分にも何かできることはあるのではないか」と考え出場を決めました。

日々周囲を確認しながら安全で丁寧な運転・作業を心掛けていますのでその点が評価されて推薦されたのであればうれしいです。

地方大会・全国大会に向けてどのように取り組みましたか。

学科の勉強を1月から始めました。時間があればテキストを開いて読み込みました。家族からは毎日テキストを開いているので「受験生みたいだね」と言われました。

点検・運転競技については1月から競技動画を見ていました。実技練習は6月から始めたのですが、過去に全国大会に出場された方の実演を見る機会があり、動画からは分からなかったレベルの高さに「もっと努力しよう！」と決意を新たにしました。

全国大会前日はどのように過ごしましたか？

「今までやってきた力があるから早く寝ろ」と言われました。意外と寝ることができましたし、食事も取れました。

むしろ運転競技が終わってからの昼食が一番食欲がなかったです。やり切った達成感と安堵感で胸がいっぱいになりました。

全国大会での各競技はいかがでしたか？

大会初日、競技順を決める抽選で54番を引きました。早く終わりたいかったので「遅い！」と思いました。

学科競技

ある程度はできたと思いましたが、覚えきれていない部分、分からなかった点もあり、また、他の選手の出来が分からないので不安な気持ちもありました。

点検競技

54番目だったので、控室の椅子に座ってイメージトレーニングをして待っていました。競技はすごく緊張したので時間がかり、制限時間5分ギリギリでした。

運転競技

自分が待機場所に呼ばれるまでは他の選手の競技を見ていました。待機場所に座ってからは点検競技同様イメージトレーニングをしました。

Aコース、Bコースのどちらで競技するか直前まで分からなかったのですが、同じコースレイアウトなので気にならなかったです。

競技は最後まで集中して運転することができました。周りの視線も気にならなかったです。いつもの練習どおりに運転することができました。プレッシャーを感じていましたが、「今まで練習してきたのだから自分はできる」と思い込んで臨みました。

1月から大会に向けてモチベーションを維持することができた秘訣は何でしょうか？

大会出場を今大会一回限りに決めていました。なので、今年はこの大会に向けて絶対頑張ろうと続けることができました。

今後の抱負をお聞かせください。

これまでの人生で競技大会に出場することがなかったので、大会出場は良い経験になりました。社会人になってから「優勝を目指して頑張る」ことはなかなかないと思い臨みました。フォークリフトについて知らないことがびっくりするぐらい多いことを知ることができました。

まだ自分は教えられるまでに至っていないので、「フォークリフト運転競技大会」は出場する価値がある、頑張る価値があると広めていきたいです。





受付待ちの選手の皆さん



ゼッケン番号の抽選



開会式を待つ選手の皆さん



学科競技を待つ選手の皆さん



点検競技を待つ選手の皆さん



運転競技を待つ選手の皆さん

第40回全国フォークリフト運転競技大会スナップ写真集



運転競技の審査員



運転競技を見守るギャラリーの皆さん



運転競技に使用する
フォークリフトの展示



優勝者発表



第1駐車場は満車でした